

地域医療連携室だより

Vol.38

発行 平成 24 年 8 月
発行元 大津市民病院地域医療連携室
住所 〒520-0804
滋賀県大津市本宮二丁目 9 番 9 号
TEL 077-526-8192
URL: <http://www.municipal-hospital.otsu.shiga.jp/>



～ 放 射 線 部 の 紹 介 ～



放射線部技師長
和田 真紀雄

現在、放射線部は診療放射線技師17名、事務員5名にて撮影・検査など行い、より良質な画像を提供し診断に役立つよう努めております。2007年よりフィルムレスへと移行しPACS・レポートシステムにて運用され、放射線科医師4名、専攻医1名にて当日に読影レポートが報告されています。主な保有医療機器と台数は一般撮影装置4台、X線テレビ装置3台、乳房撮影装置1台、パノラマ撮影装置1台、ポータブル撮影装置5台、手術室外科用イメージ4台、血管造影撮影装置2台、CT撮影装置2台(16列、64列)、MRI装置2台(1.5T、3.0T)、核医学診断装置2台(ガンマカメラ)、骨密度測定装置1台、結石破碎装置1台です。昨年度の検査件数ですが一般撮影部門64,536件、CT部門21,852件(冠動脈造影220件)、MRI部門(1.5Tのみ)6,625件、RI部門545件です。またマンモグラフィ一検診精度管理中央委員会より検診施設画像認定施設として認証されており、市民対象に乳がん検診を実施しています。

本年1月に血管造影撮影装置を更新、6月には3.0T-MRIが稼動いたしました。昨年11月に健診センターがオープンし、脳ドックも近い時期に実施する予定があります。

地域医療連携に関しましては、単純X線撮影、乳房撮影、骨塩定量測定、上部消化管透視、RI検査、CT検査、MRI検査の予約検査を実施しています。予約待ち時間の長かったMRI検査については、3.0T-MRI装置の稼動により2台体制となり、スムーズな検査予約と、高画質な画像の提供が行えるようになりました。全装置のスペックを最大限に引き出した良質な画像と、患者様側の目線に立った撮影・検査の実施を目指していますので、今後とも地域の先生方のご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

ご案内

◎大津市民病院大学

8月21日(火)14時00分～15時00分

「子宮がん・卵巣がんのはなし」産婦人科・診療部長:鈴木 彩子

◎NST勉強会

8月23日(木)17時30分～19時00分

「侵襲下の高血糖患者の栄養管理」内科:橋本 善隆

◎総合内科症例検討会

8月29日(水)17時30分～(約1時間)

◎看護局公開講座

9月3日(月)・11月9日(金)17時30分～19時00分

「看護師のメンタルヘルスケア」(両日同じ内容です。)

滋賀医科大学医学部附属病院 精神看護専門看護師:安藤 光子



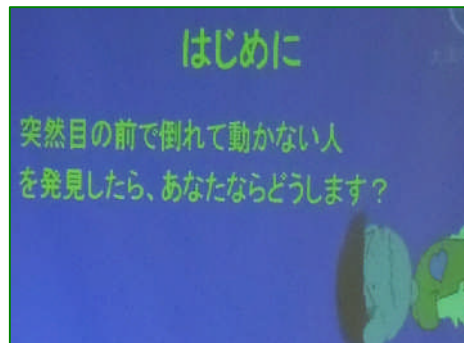
※会場は全て大津市民病院 9階会議室

大津市民病院大学レポート



7月12日(木)に大津市民病院大学が開講しました。

第1回目は当院救急看護認定看護師の吉田 修より「AEDのはなし」と題して、突然目の前で倒れて動かない人を発見した時、いかに市民の協力が必要か、何をすべきか？をお話しさせていただきました。また、AEDの操作方法やマネキンを相手に心臓マッサージを実際に体験していただいたことで、講義後のアンケートでは「人助けが出来そう!」「実際にないことを願うが、直面したときにはやってやろう!」などのお声をいただきました。



第2回目は麻酔科・医長の橋口 光子より「麻酔(ますい)のはなし」と題して「麻酔の役割」や「麻酔の種類」、「麻酔の歴史」、普段見ることが出来ない「手術室内の機器や様子」などを多くのスライドを使ってお話しさせていただきました。

また、「お酒を飲みすぎると麻酔が効きづらいと奥さんに言われたが本当?」など市民の方の疑問にも答えていただきました。(回答→個人差はあるもののお酒によってとは考えにくいです。)
聞く機会の少ない麻酔科医の話に受講者のみなさんは熱心に耳を傾けられていました。



次回は

8月21日(火)

14時00分～15時00分

「子宮がん・卵巣がん」のはなし

産婦人科診療部長 鈴木彩子